

東京大学グローバルキャンパス推進本部
嶺南大学派遣プログラム（2019-2020 年）募集要項

2019.3.26

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があるため最新情報を必ずウェブサイトで確認すること。

嶺南大学：<http://www.LN.edu.hk>

Go Global 東京大学 海外留学・国際交流情報ウェブサイト（Go Globalウェブサイト）：

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-Lingnan.html>

1. 概要

派遣学生は嶺南大学への授業料支払いは不要であり、嶺南大学から奨学金（30,000 香港ドル）が給付（返済不要）される。詳細については上記 Go Global ウェブサイト上の嶺南大学 Factsheet を参照すること。参加が決定した学生に嶺南大学よりコース案内および受講希望コース決定のための手続き等の連絡がある。

（1）期間

募集対象期間は以下の通り。

- ① Fall Semester のみ（2019 年 9 月上旬～12 月中旬）
- ② Spring Semester のみ（2020 年 1 月中旬～5 月中旬）

（2）派遣学生数 1 名

（3）費用

- ① 嶺南大学に支払う授業料等は不要である。
- ② 宿泊料・航空賃・教材費・ビザ取得費用・保険等の参加に要する費用は自己負担となる。
- ③ 嶺南大学からの奨学金として派遣学生は 30,000 香港ドル給付される。（返済不要）
- ④ その他の奨学金を併せて受給することを希望する学生は、各種奨学団体等による奨学金制度を利用することが可能である。

なお、奨学金の併給が認められない場合があるので、当該支給団体等に確認すること。

参考：Go Global ウェブサイト 「海外留学等奨学金」

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/scholarship-index.html>

2. 応募資格・条件

以下の応募資格・条件をよく読み、すべてを満たした上で申請すること。

- （1）以下の嶺南大学が指定する英語能力証明について、2019 年 5 月 1 日の時点で有効な証明書を学内申請時に有すること。

TOEFL iBT	79 以上
IELTS(Academic)	6.0 以上

- （2）派遣時に入学 1 年目もしくは卒業年最終学期の学生ではないこと。
- （3）申請時及び派遣期間を通じ、学部の正規課程に在籍すること。
- （4）学部後期課程への進学予定者は、留学開始時までに進学していること。本プログラム中に前期課程から後期課程への進学はできないので必要な手続きを取ること。

- (5) 履修において不利益とならないよう、東京大学での授業・試験日程、その他各自の予定等を申請前に十分確認・納得した上で申請すること。
- (6) 東京大学の授業に一定期間出席できない場合等の取扱いについては留学時の所属学部判断による。プログラムの参加に際し必ずしも配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。
- (7) 留学または休学の手続きをとり渡航すること。所属学部により取扱いが異なるので、留学時に所属する予定の学部の担当部署に確認すること。
- (8) プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で「グローバルキャンパス推進本部担当海外派遣プログラム申請に係る留意事項確認書」の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がない学生は、プログラム参加時に所属する予定の学部の担当部署にその旨報告・相談したうえで「なし」と記入すること。
- (9) プログラム参加時に所属する予定の学部担当部署に相談し、留学に関する学務上の留意点の説明を十分受け、申請書の所定欄に署名を受け、納得した上で申請すること。
- (10) プログラムで取得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは留学時の所属学部判断によるので、納得した上で申請すること。単位認定の手続き等については、派遣時に所属する予定の学部の担当部署にて事前に確認及び相談すること。
- (11) 派遣中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会 (JEES) の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」への加入は必須要件となる。費用は自己負担となることを了承していること。
- (12) 所属学部により、留学中の危機管理対策として、日本エマージェンシーアシスタンス (株) の派遣学生危機管理サービス OSSMA (Overseas Student Safety Management Assistance) への加入を義務付けられる場合がある。派遣が決定した場合、OSSMA への加入については所属学部の指示に従うこと (加入に要する経費は自己負担となる)。

3. 所属学部への応募期間及び締切：

2019年4月1日正午～2019年4月上旬頃

- (1) 学務システム (UTAS) の電子申請は 2019年4月1日正午に公開される。締切は所属学部により異なるので、必ず各自で4月以降の所属学部の担当部署に確認すること。

各学部担当部署一覧：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>

- (2) 嶺南大学の Factsheet 等に記載の締切日とは異なるので注意すること。

4. 応募方法・応募書類

- (1) 応募時に所属する部局の応募締切日までに、UTASからの電子申請を完了させること。
- ※ 電子申請は4月1日正午に公開される。学内申請時の記入項目や添付書類の一覧は別添1にあるため、あらかじめ確認し、準備しておくこと。
 - ※ 応募締切以降、電子申請システムは閉じられるため、申請できない。また大きな不備のある申請は締切前に申請を完了しても受理されない。
 - ※ UTASの「2.基本情報」及び「4.家族等関係者の連絡先【日本国内の緊急連絡先】」は申請画面では記入・変更できない。そのため空欄または変更が必要な場合は、所属学部の担当部署に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。
- (2) 電子申請時に「18. 添付資料」でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

提出書類	対象者	提出方法・備考
・学外成績証明書	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で学位を取得した者が該当する。
・本学の成績証明書	全員	東京大学入学後の全ての成績証明書（英文）をPDF化しアップロード。
・パスポート顔写真ページの写し	全員	カラーで顔写真、氏名・有効期限等が記載されたページをPDF化すること
・語学能力証明書（TOEFL iBT、IELTS）	全員	（注1）参照。
・誓約書	全員	指定書式（ダウンロード）を記入・署名後スキャンしたPDFを「18.添付資料」へアップロード。申請時未成年は保証人の署名も必要。
・グローバルキャンパス推進本部担当海外派遣プログラム申請に係る留意事項確認書	全員	（注2）参照。

（注1）語学能力証明書（TOEFL iBT, IELTS）（2019年5月1日時点で、有効期限内のものとする）
TOEFL iBTまたはIELTS（アカデミック・モジュール）のスコアの写し（TOEFL iBTについては受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする）。

（注2）グローバルキャンパス推進本部担当海外派遣プログラム申請に係る留意事項確認書

※指定書式を申請書（UTAS上の電子申請）の内容と同一になるように記入し、派遣時に所属する学部の担当者の署名をもらった後、スキャンしたPDFをアップロードすること。署名を貰う際は申請書（UTAS上の電子申請、全ページ）のプリントアウトも必ず持参すること。

※派遣時所属部局及び申請者の署名がない確認書については、書類不備とみなし申請を認めないので注意すること。

※派遣時所属部局担当者の署名をもらった後、申請書（UTAS上の電子申請）を変更したことが判明した場合、不採択となる。

【電子申請応募先】

UTASにログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申し込むこと（「海外派遣プログラム申請の手引き」を参照のこと）。

※UTAS：<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

※海外派遣プログラム申請の手引き（PDF）：<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400099994.pdf>

【申請書類指定書式のダウンロード先】

Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/application-tips-Lingnan.html>

5. 学内選考

- (1) 書面審査を行い、派遣候補学生を決定する。
- (2) 選考結果は4月下旬頃に所属学部を通じて通知する。
- (3) 書類に不備がある場合等の連絡はEメールで行うため、応募後は定期的にEメールを確認すること。重要な連絡が迷惑メールフォルダに振り分けられてしまう例もあるため、迷惑メールフォルダも確認すること。

6. 派遣候補学生内定後の留意事項

(1) 派遣候補学生には別途本部国際交流課より選考後の手続きの連絡を行う。なお、派遣候補学生に内定した学生は嶺南大学が定めるオンラインでの申請を終え、以下の応募書類を作成し、本部国際交流課へ提出することとなる。秋学期派遣を希望する学生の場合、学内選考結果から嶺南大学への書類提出までの期間が短いため(2週間程度)、あらかじめ書類の準備をしておくこと。派遣先大学への書類作成及び手続は、本人の責任において十分確認の上、遺漏なきよう行うこと。

- ① Visa Application Form
- ② Financial Proof
- ③ Financial Supporting Letter and Copy of Passport of the Financial Sponsor (if the financial proof is not belongs to the applicant)
- ④ Passport valid for at least 6 months beyond the intended stay in Hong Kong※
※Provide a clear copy of your identity card for Mainland students.
- ⑤ Reference Letter from academic faculty of your home institutions

(2) 入学、渡航、及びビザ取得手続き等は嶺南大学の指示に従い、大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用は本人の負担となる。

(3) 派遣先大学における専攻・履修可能な授業等は原則として本人の希望等によるが、派遣先大学の事情によって必ずしも希望通りに実現するとは限らない。

(4) 派遣候補学生に内定した場合でも、次の場合は派遣できない。

- ① 募集人員が減ったとき。
- ② 派遣先大学から受け入れ許可が得られなかったとき。
- ③ 「2. 応募資格・条件」の要件を満たしていないことが判明したとき。
- ④ その他、グローバルキャンパス推進本部が留学が適当でないと認めたとき。

(5) 派遣の資格を満たすことができない可能性が生じた場合、早急に所属する学部の担当部署を通じて本部国際交流課へ連絡すること。なお、派遣留学は派遣先大学との間で推薦枠を決めて行われているため、派遣候補学生内定後は特別な事情がない限り辞退がないように注意すること。

(6) 一般的な留学のための情報や危機管理等については [Go Global](https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html) ウェブサイトを参照すること。
(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html>) 特に、海外渡航危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。

(7) 留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会 (JEES) の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入すること。嶺南大学派遣プログラムへの参加には、「付帯海学」への加入は必須条件とする(加入に要する経費は自己負担となる)。なお、加入に当たっての詳細は留学が正式に決定した学生に追って通知する。

(8) 留学時に所属する学部の指示に従い「留学」または「休学」の手続きをとり渡航すること。手続きについ

ては派遣時の所属学部の担当部署にて事前に相談すること。

(9) そのほか、本学が指示する注意事項に従うこと。

7. プログラム参加の際の注意事項

(1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。

(2) 参加学生は本学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国や地域の法令、規則、規定、マナー等を遵守すること。

8. 留学後の報告等

(1) 派遣学生は、派遣前に案内がある「帰国後提出書類」について留学期間終了後 2 週間以内に提出すること。

(2) 派遣先大学で修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは所属学部の判断による。本プログラムで修得した単位が必ずしも本学の単位となるとは限らない。単位認定の手続き等については、留学中に所属する学部の担当部署にて事前に確認及び相談すること。

(3) 派遣学生には、本学の国際化に関する取り組みへの協力を依頼する場合がある。報告会や説明会への参加、留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等の依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

9. その他

申請に当たって所属学部及びグローバルキャンパス推進本部が知り得た氏名・連絡先その他の個人情報については、派遣候補学生の選考・決定、派遣先大学派遣先大学への手続き、本学の国際化に関する取組への協力依頼等の業務を行うために利用する。

10. 問合せ先

本件に関する問い合わせは、所属学部の担当部署を通じて行うこと。

各学部担当部署一覧：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>